

## カタボン Hi とそれに準じたドパミン濃度作成について

カタボン Hi はドパミン 600mg が 200mL の溶液の中に入っています。だから 1mL に 3mg が入っています。

$1\text{mL}/\text{時}=3\text{mg}/\text{時}=3000\mu\text{g}/\text{時}=3000\mu\text{g}/60\text{分}=50\mu\text{g}/\text{分}$  となりますから、1mL/時で投与すれば  $50\mu\text{g}/\text{分}$  で投与しています。ガンマは 50/体重で計算できます。

$$50/40=1.25$$

$$50/50=1$$

$$50/60=0.833$$

$$50/70=0.714$$

$$50/80=0.625$$

となりますから、体重 50kg の人に 1mL/時投与すればちょうど 1 ガンマ投与することになります。体重 40kg の人には 1.25 ガンマ、体重 60kg の人には約 0.8 ガンマ、体重 70kg の人には約 0.7 ガンマ、体重 80kg の人には 0.625 ガンマ投与することになり、覚えやすい数字が並んでいます。特に体重約 50kg の人は 1mL/時の投与が 1 ガンマになるのですから、5 ガンマ投与したければ 5mL/時で投与すればよいわけです。非常に計算が簡単です。ドパミンを投与するような人は衰弱していますから、体重は平均して 50kg ぐらいでしょう。

イノバンからカタボン Hi に準じたドパミン濃度を作成するには、1 アンプル(100mg, 5ml)のイノバン 3 アンプルを生食 35mL に溶かします。溶液は  $5\times 3+35=50$  で 50mL になります。つまり 300mg が 50mL の溶液の中に入っています。1mL に 6mg が入っていることになります。カタボン Hi の 2 倍の濃度です。

$1\text{mL}/\text{時}=6\text{mg}/\text{時}=6000\mu\text{g}/\text{時}=6000\mu\text{g}/60\text{分}=100\mu\text{g}/\text{分}$  となりますから、1mL/時で投与すれば  $100\mu\text{g}/\text{分}$  で投与しています。ガンマは 100/体重で計算できます。

$$100/40=2.5$$

$$100/50=2$$

$$100/60=1.666$$

$$100/70=1.428$$

$$100/80=1.25$$

となりますから、体重 50kg の人に 1mL/時投与すればちょうど 2 ガンマ投与することになります。体重 40kg の人には 2.5 ガンマです。